



遠足で遊んだい、学んだい

2月20日(木)に遠足を実施しました。寒い中ではありましたが、風は強くはなく晴天だったので、気持ちよく校外に出ることができました。1、2年生は公園、3年生は松山城、4年生は坂の上の雲ミュージアムと子規記念博物館、5年生はNHKと県美術館、6年生は掩体壕と考古館に行きました。やまぶきの子どもたちは、各学年の目的地に行きました。

低学年の子どもたちは、現地で楽しく遊んで交流を深めることができました。3年生以上は、市内の歴史的な文化財のある場所や社会科の学習と関わりのある場所に行って、充実した学びを体験することができました。同じ仲間と過ごしていても、学校とは違う環境だと新たな気付きも生まれます。それも子どもたちが遠足を楽しみにしている理由の一つだと思います。

【やまぶき】「松山城」

🍷 一番楽しかったのは、松山城です。一番上から遠くが見えました。お城の下でお弁当を食べました。城山公園の椅子が気持ちよかったです。また行きたいです。

🍷 松山城から見る市内の景色はとてもすばらしいものです。きっと殿様になった気分で見ることができたことでしょう。

【1年生】「お弁当を食べたよ」

🍷 僕は、友達とお弁当を食べました。友達と一緒に食べるとおいしかったです。いっぱいお話をしました。友達がだじゃれをしてくれたので面白かったです。友達が「お弁当、おいしいね。」とってくれたので楽しくなりました。次にお菓子を食べました。ラムネがおそろいだったのでうれしかったです。また一緒に食べたいです。



🍷 お菓子を食べられるのも、遠足の醍醐味。決まった金額内で考えながら買ったお菓子を、おいしそうに食べる子どもたちの笑顔が目につかびます。

【1年生】「ケイドロが楽しかったよ」

🍷 私は、遠足でケイドロをしました。先生と友達3人と一緒にしました。はじめは、私は警察でした。みんなとしたら、いっぱい捕まえられました。次も警察でした。友達の足が速くてすぐ逃げられました。友達が「楽しいね。」とってくれたので、もっと楽しくなりました。またみんなでケイドロをしたいです。

🍷 思い切り遊べたことが分かります。「楽しいね」と言われると、もっと楽しくなる気持ちも分かります。遠足で楽しさを共有することができました。

【2年生】「楽しかった鬼ごっこ」

🍷 私は、友達3人と鬼ごっこをしました。変わり鬼をしました。最初は、あまり捕まらなかったけれど、後からたくさん捕まりました。たくさん友達も捕まえました。時々、鬼が分からなくなって、いろんな人に捕まりました。滑り台をたくさん滑って、逃げました。友達が「また遊ぼうね。」と言ったので、また行きたくなりました。楽しかったです。



◆ ゲームがなくても、子どもたちは十分楽しむことができます。友達と過ごした時間が、有意義であったことがよく分かります。

【3年生】「遠足」

🏠 遠足で、松山城に行きました。リフトには、シートベルトはないけれど、その迫力が、また楽しかったです。天守閣の中で、刀の重さ体験をしたり銃の構え方が分かったりしたので、よかったです。次の遠足でも、昔のものが分かるところに行きたいです。また、楽しみにしています。

◆ 3年生でも、歴史に興味のある子どもたちはいます。松山城は、国内でも貴重なお城の一つなので、さらに興味をもってほしいと思います。

【4年生】「正岡子規と松山市」

🏠 遠足で、坂の上の雲ミュージアムと子規記念博物館に行きました。そこで学んだ子規さんのことについてまとめます。およそ120年前のこと、子規さんは「松山や秋より高き天守閣」という俳句を書きました。この俳句は、今でも松山市の小学生が歌っている俳句です。このように子規さんの俳句は、松山にとって宝なのです。子規さんの俳句をここまでつないでくれたことに子規さんは喜んでくれるだろうと思いました。



◆ 正岡子規についてまとめることで、遠足の感想を伝えられるのは立派ですね。こんな感想を書いてもらえれば、正岡子規も喜んでくれるはずですよ。

【5年生】「県美術館」

🏠 私が遠足で特に楽しかったことは、県美術館の見学です。理由は、いろいろな絵や写真があり、その時の気持ちにあった絵を見付けられたり、楽しそうだな、不思議だなと思える絵や写真を見られたりしたので、面白かったです。大好きな友達と学んだり、お弁当を食べたりしてとても楽しかったし、うれしかったです。最高の遠足でした！

◆ 5年生には、県美術館がとてもよかったですよ。美術作品の見方などを知ること、芸術に興味をもつ子どもたちが増えることを期待しましょう。

【6年生】「掩体壕・考古館」

🏠 掩体壕や松山市考古館に行って、松山市の歴史について知り、未来について考えることができました。特に、太平洋戦争末期に造られ、実際に使われていた掩体壕を見学したことが心に残っています。ボランティアの方の説明を聞いて、掩体壕を作るために学生も協力させられていたことや戦時中、日本には石油が足りなかったため、掩体壕に軍用機を入れる際には、人が手で引いたり押したりしていたことが分かりました。これらのリアルな戦争の話聞いて、より一層、平和への意識が高まり、ニュースを見る、勉強をするなど、自分にできることをしようと思いました。また、松山市考古館では、市内で出土した土器を見たり、火起こし体験をして古代人の生活や工夫を知ったりすることができました。今回の遠足で、たくさんの学びを得たので、関わってくださった人たちに感謝をして、これからに生かしていきたいと思いました。



◆ 6年生になると考え方がしっかりしています。遠足で体験したことを、これまでの学習とつなげることで、理解を深めています。